

シャワークライミング 峰山高原・小田原川本谷 沢登り 2023/8/11(山の日)



小田原川は小滝がつらなり 豪快なシャワークライミングが体験できた

概要 <アクセス>車2台

<天候 晴れ時々曇り>

<参加メンバー>6人(女性1名)

本日は今年二回目の沢登り。前回の裏六甲逢山峡より谷の距離は長く、ややハードなところあり。

黒岩の滝



熱中症アラートが出る気温で水につかる下半身は快適だがライフジャケットをつけた上半身は汗だく。入渓してしばらくすると砂防ダムでこれを越すと小滝が現れた。

<コースタイム >

7:00JR宝塚駅集合→9:00林道駐車地到着→9:50小田原川入渓点 521m→小滝連続→13:50黒岩の滝→14:20終了点(広場)→下山:学習林道→林道駐車地→帰途 かがた温泉に入湯する

<終了点 黒岩の滝について>

所在地 兵庫県神崎郡神河町上小田 落差 20m 水系 小田原川
峰山高原を源とする小田原川の上流にかかる落差約20mの滝で、滝の背景である断崖の岩が黒々と光っていることから命名されたと伝わる。岩肌の黒と流れ落ちる水の白のコントラストの鮮烈さから広く知られ、雪彦峰山県立自然公園を代表する滝の一つとされる。(ウィキペディアより)



1. さっそくお助けロープの出番



2. 出来る限り流心をあがる



3. 水圧で押し戻されること度々



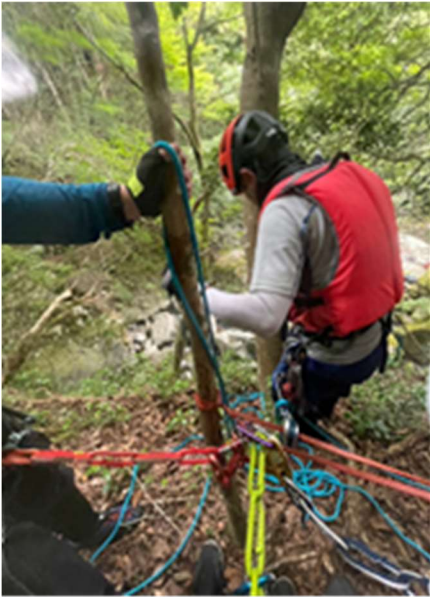
4. 滝つぼをへつるとこぶし大のヒキガエルが「どいてくれ 手がおけん」



5. 流心では足場が案外あった



6. 小休憩のあと 懸垂下降のトレーニング



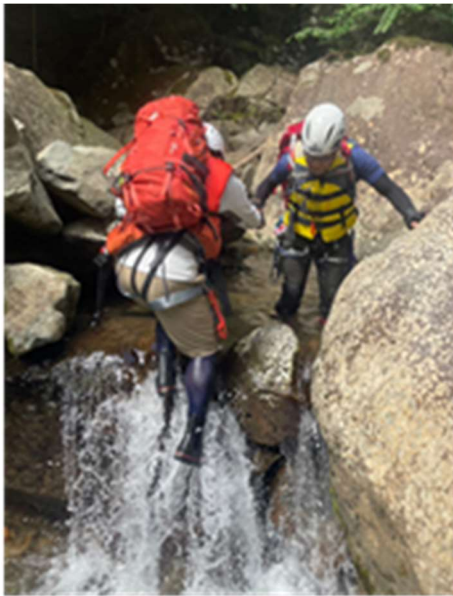
7. ライフジャケットつけたまま懸垂下降



8. 水をかぶってレンズも曇りがち



9. 次々現れる小滝 濡れるのがうれしい



10 ひざも使ってよっこいしょ



11 黒岩の滝はもうすぐ



12 終了点の黒岩の滝を登る

ところどころ鳥の鳴き声があるが、CLの「マムシに気をつけろ」の声にビビる。小滝が次々現れ、リーダーは流心を登っていくが、新米はお助けロープのお世話になるか、きょろきょろとして高巻きする道を探す。

普段の登山では足を濡らさないように、へつりで失敗しないようにと気を使うが、水に突っ込んでいくのはとても爽快だ。滝つぼで気持ちよく泳ぐ仲間も笑顔。湧水のように水量はもう一つだが谷から見る空の青さも新鮮。最後は何段もつながる黒岩の滝を眺め左岸をロープを補助にして登攀。「広場」に上がり林道を下るが案外急な坂道。渓谷も相当高さを稼いだものと思った。(H.U)